

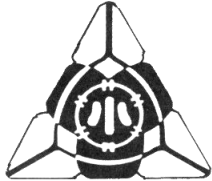
○ 長野市立 川中島小学校 ○

(ホームページ: <http://www.nagano-ngn.ed.jp/kawanajs/>)

長野市立川中島小学校は、近代学校として全国で二番目、長野県では最も古い歴史と伝統を持っている学校で、本年度創立157年を迎えました。

- 明治2年に創立された日新館の精神を受け継ぎ、日新教育として生活科や総合的な学習の時間に取り組んでいます。日新館（今里郷校）の校門として使用された上田藩塩崎の陣屋門は、その後千曲市に移転されていましたが、令和3年、地域の方々のご尽力により約150年ぶりに本校校庭に移転・復元されました。
- 学校の中には『日新館』という教室があり、学校の昔の写真や資料が展示してあります。
- 川中島というと、武田信玄と上杉謙信が戦った「川中島の合戦」で有名ですが、古戦場からは離れています。学校の周辺では、桃作りが盛んで、春には美しい川中島白桃の花が咲きます。古くからの農業が盛んな地ですが、新しく住宅地に開発されている地区もあります。

【校章】



上下の三円角は、川中島のシンボルであり農産物の第一であった小麦の花を表している。「小」の字を囲む三円は、川中島三区を表していて強く輪で結ばれている。川中島小学校の児童が、希望と清新の気に満ち、互いに手を取り合って平和を求め、文化を高めていってほしいという願いが込められている。

(昭和26年12月6日制定)

【学校規模】 児童数：450名／学級数：22学級／職員数：48名 (R8.6.1現在)

学校経営方針

【校訓】 日新

中国の古典「大学」の「湯之盤銘曰、苟日新、日日新、又日新」より
(今日の行いは昨日より新しくよくなり、明日の行いは今日よりも新しくよくなるように、修行に心がけねばならぬ…の意)

【学校目標】

日に新たに 日々新たに生きる 川小っ子

【めざす子どもの姿】 やさしく かしく たくましく

◎思いやりのある子 ◎よく考え、進んで学ぶ子 ◎よく遊びよく働く、がまん強い子

【重点活動】

- 1 つながる 関係づくり 交流活動の充実 地域との連携
- 2 たかめる 主体的学びの実現 ICT活用
- 3 はぐくむ 運動の充実 人権教育の充実



正門横に移設された陣屋門

〈重点活動達成に向けての主な取り組み〉

- ◎日々の授業改善
 - ・特別支援教育の視点を取り入れた授業（川小スタンダード）
 - ・インクルーシブリーディング校として専門講師を招いての研修
 - ・一人ひとりのニーズに合わせた支援
 - ・ICT活用による個別最適な学びと協働的な学習の推進
- ◎家庭・地域との連携
 - ・学習習慣の確立（「家庭学習のてびき」等の活用）
 - ・ふるさと川中島から学ぶ学習、体験交流活動
 - ・川小っ子応援団(信州型コミュニティスクール)の推進
- ◎学年・学級経営の充実
 - ・学校・学年での共通理解のもとで行う指導（職員会・学年会の充実、教科担任制の導入）
 - ・個々の児童との相談の時間（学期に1回位置づけ）

特色ある教育活動

＜日新教育＞ふるさとの人やものに学ぶ

ふるさと学習（総合的な学習・生活科）
地域探検、歴史学習、桃作り、「霧の川中島」（運動会ダンス）、米作り等

＜心と体を育てる活動…日課への位置づけ＞

- ・朝の活動…読書、全校音楽、全校運動、ドリル（基礎基本の定着）
- ・パワーアップタイム…5校時前10分間（各学級の特色ある活動）
- ・高学年は水曜日の5時間目を通常の45分にプラス15分の時間を設け、振り返りや次への見通しを持つ時間として授業を計画できるよう設定。
- ・おはなし玉手箱…地域ボランティアのみなさんによる読み聞かせ（年間16回予定）